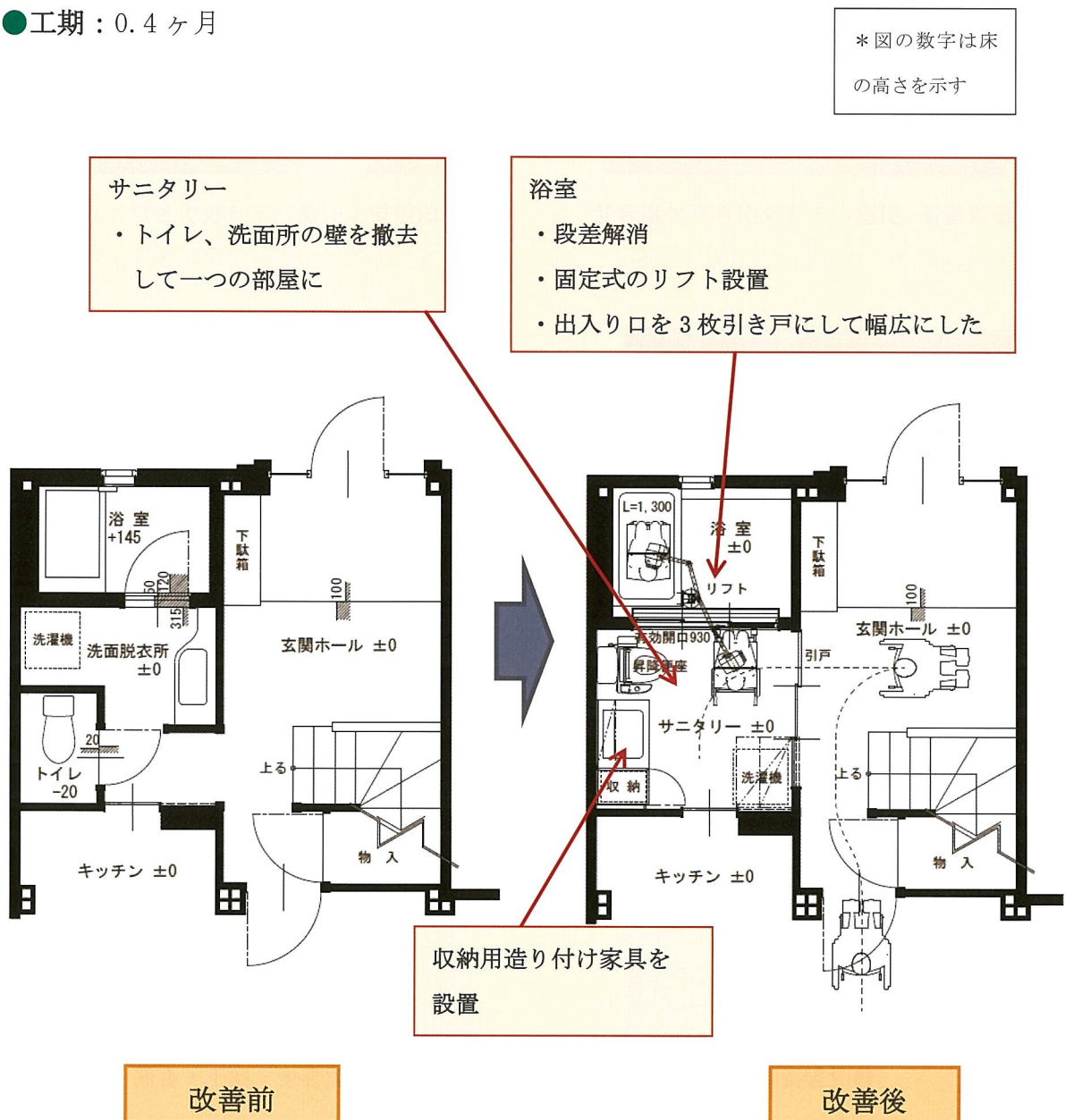
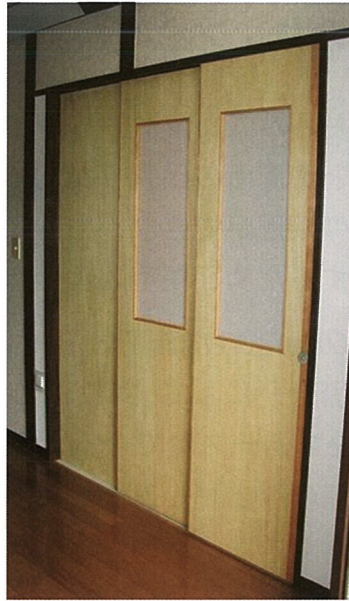


事例4 本人と家族が楽に暮らせる住宅改善

- 改善前の生活状況：夫婦と娘の三人住まい。夫のALS（筋萎縮性側索硬化症）の進行により生活全般に介助が必要となる。トイレや洗面所前の廊下や出入口が狭く車いすで接近できない、トイレ及び浴室に段差があり介助の負担が大きい。出来る事は自分で行いたい本人並びに介護者の負担を軽減するために改善を希望。
- 改善の内容：トイレ・洗面所の壁を取って一室にし、幅広の出入口を新設。各室の段差解消およびリフトの設置（外出には、居室の外部に段差解消機を設置済）。収納用造り付け家具の設置。
- 改善後の生活状況：車いすでのスムーズな移動が可能となり介護負担が軽減した。収納が多くなり整理・整頓が出来るようになった。
- 費用：215万円（入浴リフト別途）
- 工期：0.4ヶ月





●改善前：玄関ホール

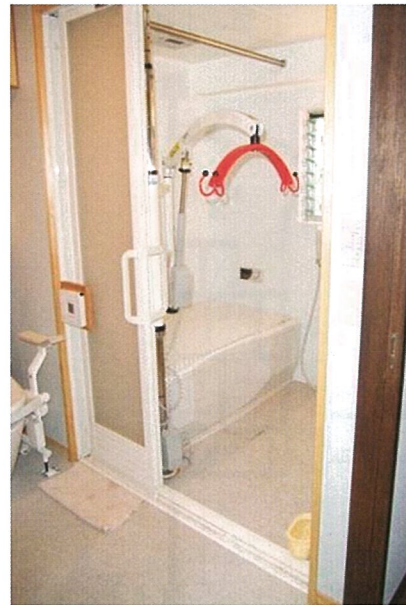
- ・右手にトイレと洗面所の入口

●改善後：玄関ホール

- ・洗面所、トイレ入口は幅が広く取れる2枚引き戸を設置

●改善後：洗面所・トイレ

- ・洗面所・トイレを一室にし、スムーズな移動が可能に
- ・たくさん入れられる収納用の造り付け家具を設置



●改善前：浴室

- ・段差が大きく、出入口の幅も狭い

●改善後：浴室

- ・リフトを設置しても介護しやすい大きめのユニットバス（マンション用）を選択。
- ・段差を解消し、出入幅の広い3枚引き戸を設置

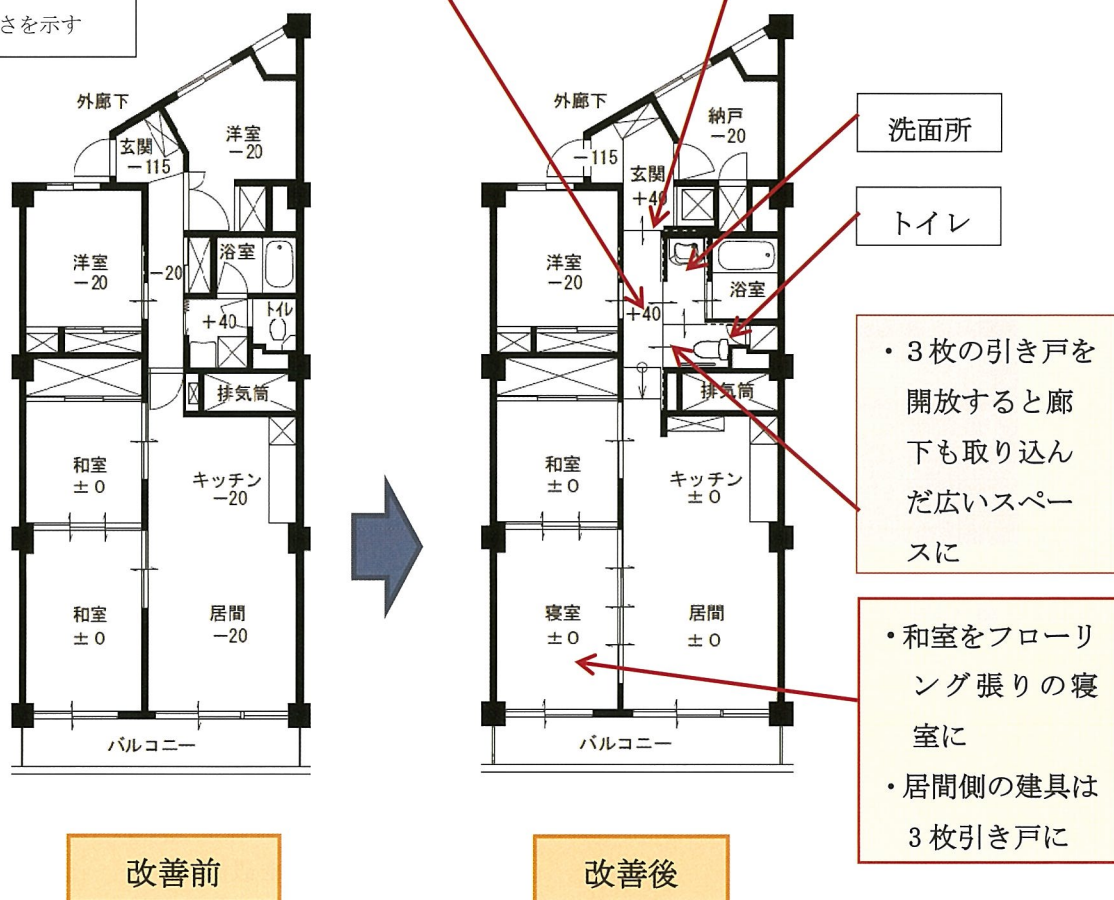
事例5 車いす利用者のマンション改善

- 改善前の生活状況：高齢夫婦の二人住まい。夫が68歳で脳梗塞による半身まひで車いす生活になる。廊下と洗面所の出入り口に60mmの段差があり、洗面所・トイレとも開き戸で車いすでの接近ができない。できるだけ自立したいという本人の願いと介護者の負担を軽減するため、住宅改善を希望。
- 改善の内容：廊下の床を60mm上げ洗面所・トイレと同じ高さにする。洗面所・トイレと廊下の間仕切りを引き戸にして、開放時には廊下と一体の広い空間を確保し、車いすの移動及び介助をスムーズにできるようにした。居室と水回り諸室の温度差解消のため、キッチン脇の開き戸を玄関側に移設（引き戸に改造）。和室を寝室にするため床をフローリングにし、居間の床を20mm上げ同じ高さにする。居間・寝室間は3枚引き戸で一体感のある空間に。
- 改善後の生活状況：車いすでのスムーズな移動が可能となり、介護負担が軽減、トイレ、洗面、入浴ができるようになった。玄関、上り框の段差は大きくなったが、外出時は介護者がつくため生活上の支障はない。

●費用：内装リフォーム含み700万円

●工期：7週間

* 図の数字は床の高さを示す





●改善前：脱衣室・トイレ

●改善後：洗面所・トイレ

●改善後：洗面所・トイレ・廊下

・洗面所、廊下との仕切りは引き戸

・廊下の床をかさ上げし脱衣室、トイレ、浴室間の段差をなくす

・仕切りの引き戸を開放すると広いスペースができる



●改善前：浴室入口

・段差がある

●改善後：洗面台

・洗面台の下部を開放し、車いすで使いやすくした

●改善後：浴室

・出入口の段差解消



●改善前：キッチン～廊下

・狭く、段差がある



●改善後：寝室

・床をフローリングにし、車いすで行動しやすくした